

平成23年度

授業料免除等申請のしおり

(前期)



三 重 大 学

◆◆◆◆◆ 目 次 ◆◆◆◆◆

授業料免除の申請について	1P
申請書の配付・受付期間・場所	2P
平成23年度(前期分)授業料免除申請要領	3P
提出書類	4P～5P
所得に関する証明書の見本	6P～8P
提出書類記入要領	9P
記載例	10P～16P
学業成績の基準(参考資料1)	17P
標準修得単位数(参考資料2)	18P
収入基準額表 (参考資料3)	19P
授業料免除申請に係るチェックリスト	20P～21P
免除申請質疑応答集	22P～24P
提出書類チェック表	25P
授業料免除に係る「決定通知書の受領」方法について	26P

~~☆申請用紙(様式2号～様式11号)~~

授業料免除の申請について

授業料の免除を希望する者は、下記事項に留意するとともに、授業料免除の申請要領を熟読し申請に必要な書類を整え所定の期日に提出してください。

(締切日厳守)

申請手続きは各期（前期分・後期分）ごとに分けておこないます。

提出期限を過ぎたもの、郵送及び代理申請は受理しません。

書類の不備、記入漏れ、又は内容が事実と相違して記入してある場合は、選考の対象から除外することがありますので十分点検し、早めに提出してください。なお、記載内容及び提出書類に虚偽の事実が判明した場合は、免除決定後であっても免除の許可を取り消します。

したがって、疑問な点等があれば事前に学生サービスチームに問い合わせて、記載内容及び提出書類等に不備がないように留意してください。

<個人情報収集及び利用の目的>

貴殿の個人情報は、下記の目的で利用されます。

- ・ 授業料免除等選考のため

貴殿の家族の個人情報は、下記の目的で利用されます。（※ご家族にも同意願います。）

- ・ 授業料免除等選考のため
- ・ 貴殿との連絡を取るため

ご記入いただいた情報は、授業料免除等の選考業務のために利用されます。その他の目的には利用されません。

申請書の配付・受付期間・場所

	在 学 生	平成 23 年度 4 月新入生
配 付 期 間	H23 年 1 月 27 日 (木) ~ H23 年 3 月 10 日 (木)	入学手続き日 ~ H23 年 4 月 4 日 (月)
説明会	1 月 27 日 (木) 総合研究棟Ⅱ メディアホール 16 : 30 ~ 17 : 30	4 月 4 日 (月) 総合研究棟Ⅱ メディアホール 16 : 30 ~ 17 : 30
免除申請書 等 (様式 2 号) のみ受 付日		入学手続き日 ~ 4 月 8 日(金) 17 時まで厳守 学務部学生サービスチーム①番窓口
必要書類 提出締切日	3 月 10 日 (木) 厳守	4 月 22 日 (金) 厳守
受付場所	総合研究棟Ⅱ (1F) 学務部学生サービスチーム (授業料免除担当)	
時 間	AM9:00~PM5:00	

注意！！

ただし土・日・祝日は除く。

平成23年度授業料(前期分)免除申請要領

三重大学では、下記の免除対象者に該当する場合、本人の申請に基づき選考の上、授業料(前期分)の《全額》又は《半額》が免除されます。

授業料免除希望者は、申請要領を熟読し、必ず所定の期限までに、「学務部学生サービスチーム」に、申請に必要な書類等を整備して提出してください。

また、授業料免除の予算には、上限がありますので「免除対象有資格者」全員が必ずしも免除されるとは限りません。

なお、三重大学では半額免除資格者から優先に許可しています。

記

1. 免除対象者について

審査基準(成績及び家計困窮度)内に合致し、次のいずれかに該当する者を免除対象者とします。

- ◎ 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者。
- ◎ 前期授業料の納期前6ヶ月以内(平成22年10月1日～平成23年3月31日)において、学資負担者が死亡か、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納付が著しく困難な場合。

ただし、学資負担者の死亡の場合であっても、退職金・生命保険等の受給があり、授業料の納付が著しく困難であると認められない場合は、免除の対象とはなりません。(新入学生の場合は、1年以内(平成22年4月1日～平成23年3月31日))

2. 申請書の配付・受付期間、場所等

配付期間	在学生 平成23年1月27日(木)～3月10日(木) AM 9:00～PM 5:00 23年度(前期)新入生 入学手続き日～4月4日(月) AM 9:00～PM 5:00
受付期間	在学生 平成23年1月27日(木)～3月10日(木) AM 9:00～PM 5:00 (厳守) 新入生 免除申請書(様式2号)提出日 4月8日(金)まで (厳守) 様式2号以外の申請書類提出日 4月22日(金) 17:00まで (厳守)
場所	学務部 学生サービスチーム ①番窓口(授業料免除担当)
電話・FAX番号	TEL 059-231-9678 FAX 059-231-9058

- (注) ① 申請の際は、記入要領等を熟読のうえ受付期間内に提出してください。
② 申請書類の「代理申請」・「郵送」・「不備」・「受付期間外」は一切受理いたしません。
③ 申請書類に不備がある場合(記載必要事項の脱落、判読不能等)は、選考から除外します。
また、免除を許可された者であっても、免除申請事由等に虚偽の事実が判明したときは、許可を取り消します。
④ 添付書類の コピーは、全てA4サイズ(縮小・拡大可) で提出してください。
⑤ 特別な事情がある場合は、次頁に掲げる提出書類以外に必要な書類の提出を請求することがあります。
(授業料免除申請後、何らかの事由により 辞退する場合 必ず学生サービスチームに連絡してください。TELでも可)

3. 免除決定の連絡及び授業料納付について

- (1) 免除選考の結果は、7月上旬頃に学務部学生サービスチームにて発表します。免除申請者には、直接「決定通知書」を学生サービスチームにて交付します。
- (2) 選考結果が決定するまでに納入された授業料は、規定により返還することができません。
- (3) <半額免除>又は<不許可>となった場合は、授業料を速やかに財務部経理チーム収入担当(TEL059-231-9028)に納入してください。
口座振替(銀行口座からの自動引落としによる納入)の手続きをしている者は、選考結果が決定するまでは、授業料は引落されることはありません。

4. 徴収猶予・月割分納について

- (1) 特別な事情がある場合には、徴収猶予及び月割分納制度がありますが、申請手続及び選考等は「授業料免除申請」と同一です。
- (2) 「徴収猶予申請」及び「月割分納申請」と「授業料免除申請」の併願申請は できません

提出書類（日本人学生）

◆申請者は、《①～⑦》の書類は、全て必ず提出すること。（⑦は該当書類のみ）

◆《⑧～⑩》の書類は、本人及び家族の中で該当者がいる場合のみ提出してください。

◆就学者とは、小学生以上（本人及び専門学校生も含む）の学生です。

（注）1. 提出書類の「コピー」はA4サイズで提出してください。（できるだけ枚数を減らす。）

	書 類	摘 要	
①	(様式1号) 家庭事情報告書 (A3サイズ)	<ul style="list-style-type: none"> 写真1枚貼付（申請前3ヶ月以内の撮影） 本人及び家族の事（平成23年4月1日の状況） 金額は記入しない。 太線枠内に必ず記入してください。（記載例参照） 	自筆でサイン フリガナも記入してください。 (本人及び保証人欄) 保証人は基本的には 保護者。 保証人が自筆でサイン
②	(様式2号) 授業料免除申請書	<ul style="list-style-type: none"> 申請事由を具体的にかつ詳細に全行にわたって記入してください。（記載例参照） 	
③	(様式3号) 収入状況等申立書 ※アルバイトをしている者は右記の証明書を添付する	<ul style="list-style-type: none"> 本人が自分の収入について記入してください。 一般アルバイトをしている場合・(様式5号) アルバイト等支払証明書 (22年源泉徴収票のコピー、又は最近の3ヶ月の給与明細書のコピーを添付) 家庭教師をしている場合・・・(様式5号) アルバイト等支払証明書 経済援助を受けている場合・・・(様式6号) 経済援助等証明書 	
④	(様式4号) 奨学金受給・貸与状況申立書	<ul style="list-style-type: none"> 本人が自分の奨学金受給・貸与状況について記入してください。 (※22年度高校在籍者は不要。) 	受給していない学生は、「無」で提出。
⑤	住 民 票	<ul style="list-style-type: none"> 家族の全員分続柄を印字されたものを提出。 申請時2ヶ月以内に発行されたもの。 4月1日以降転居予定の場合は、再度提出。 	申請時に在住している市区町村の役場にて発行。
⑥	所得証明書 (平成21年分所得)	<ul style="list-style-type: none"> 家族の全員分（祖父母・父母・兄弟姉妹・本人を含む）を提出。 (但し、中学生以下は不要です。) 	平成22年1月1日に在住していた市区町村役場にて発行。
⑦ 添 付 書 類	1. 給与所得者・・・平成22年源泉徴収票のコピー、 (又は・・・(様式7号) 給与（見込み）証明書) (又は・・・最近の3ヶ月の給与明細書のコピー) ※パートは、給与所得者と同じ扱いになります。		勤務先にて発行。
	2. 確定申告を行う給与所得者 及び 事業所得者等・・・ ・平成22年分所得税の確定申告書控え（1,2表）のコピー ・国税電子申告・納税システム（e-TAX）で申告された方はそのデータの出力帳票		本人控え
	3. 事業所得者で確定申告をしていない者・・・平成23年度市（町）県民税（平成22年分所得）申告書控えのコピー		本人控え
	4. 自宅外通学者・・・下宿先の賃貸契約書、手紙、水道料金領収書等のコピー（※現在、三重大大学の寮に居住している者は不要）		下宿の住所が証明できる物のコピー

⑧【所得区分欄】に本人及び家族で該当者がいる場合は、下記の該当書類を提出してください。

	所得区分	証明書等	発行所等
1	申請前一年以内に退職した者	給与（退職）証明書（様式7号）	勤務先, 本人宛通知書
2	申請前6ヶ月以内に臨時所得を受給した者（退職金, 保険金, 譲渡金等）	退職金・保険金等受給明細書（様式8号）に支払い通知書のコピーを添付。	勤務先, 保険会社, 市区町村役場等
3	無職・無収入者（就学者を除く）	無職証明書（様式9号）（ 専業主婦も必要 ）	民生委員, 自治会長等
4	年金受給者（遺族, 障害, 個人企業年金及び恩給等を含む。）	平成22年分公的年金源泉徴収票, （又は最新の年金振込通知書）のコピー 遺族・障害の場合は年金証書の（写）と最新の年金振込通知書	社会保険庁, 各共済組合, 各保険会社等
5	児童扶養手当・子ども手当受給者	手当支給額通知書のコピー	各都道府県市区町村役場等
6	生活保護を受けている者	保護決定通知書, 扶助料額のコピー	社会福祉事務所
7	傷病手当金証明書	支給決定通知書, 支給額のコピー	社会保険事務所, 各共済組合
8	失業中の者	雇用保険受給資格者証(1, 3面)のコピー	公共職業安定所
9	転作奨励金等を交付された者	とも補償金交付確定通知書等のコピー	市区町村役場等

⑨【控除区分欄】に本人及び家族で該当者がいる場合は、下記の該当書類を提出してください。

	控除区分	証明書等	発行所等
1	◆就学者 （高校生以上は必要）	在学証明書（様式10号提出者は不要） （中学生以下と本人は不要）	在学校
2	国立学校の2年次以上の就学者	授業料免除状況証明書（様式10号）	在学校
3	心身障害者（原爆被害・公害疾病等を含む）・要介護認定者	身体障害者手帳・要介護手帳のコピー ない場合は障害の程度を証明するもの	所轄官庁
4	6ヶ月以上の長期療養者 （申請時現在治療中である事）	診断書及び申請前6ヶ月分以上の長期療養費支払明細書（様式11号）・領収書	医療機関
5	家計支持者が別居（単身赴任）の者	赴任先の家賃・電気・ガス・水道料金の領収書（最新3ヶ月分以上）のコピー	（自己保管の物）
6	申請前6ヶ月以内に災害, 盗難等にあった者	罹災証明書, 被害金額（雑損控除）, 損害保険支払金額等の書類のコピー	消防署, 警察署, 市区町村役場, 保険会社等

⑩その他（独立世帯の証明）

	区分	証明書等
1	住民票上では, 同一生計者であるが, 実際は別居独立生計者	家賃又は水道料金等の最新の領収書のコピー （別生計を証明できるもの）
2	本人が独立生計者の場合 ※	健康保険被保険者証のコピー, 親の住民票, 本人及び配偶者の所得に関する書類等

※ 三重大学授業料免除に係る独立生計の認定基準について

- 日本人学生（学部生・大学院生）で次のいずれにも該当する者については独立生計と認定することができ、本人（配偶者があるときは、配偶者を含む。）の1年間の総所得金額で判定する。
 - ① 所得税法上、父母等の扶養親族でない者
 - ② 父母等と別居している者
 - ③ 本人（配偶者があるときは、配偶者を含む。）に収入があり、その収入について所得申告がなされ、所得証明書が発行される者
- 貸与される奨学金については、収入と見なしません。

所得に関する証明書の見本

③ 市・県民税申告書

① 給与所得の源泉徴収票

This form is used by employers to report salary payments and tax withholdings to the tax authorities. It includes fields for the employee's name, address, and tax status, as well as a detailed table for recording monthly salary payments and tax deductions.

This is a comprehensive tax return form for municipal and county taxes. It contains multiple sections for reporting various types of income (salary, dividends, interest, etc.), deductions, and tax payments. It also includes a section for calculating the final tax liability and a section for providing personal information.

② 所得税の確定申告書

This form is used for reporting income tax for the year. It includes a section for identifying the taxpayer and their spouse, a large table for reporting various income sources (salary, dividends, interest, etc.), and a section for reporting deductions and tax payments. It also includes a section for providing personal information and a section for calculating the final tax liability.

This is a detailed version of the Income Tax Return B form, featuring annotations and a 'Table of Contents' (第一表) on the left side. The annotations provide additional instructions and examples for filling out the form. The 'Table of Contents' lists various sections of the form, such as '所得の内訳' (Breakdown of Income), '所得から差し引かれる金額に関する事項' (Items related to amounts deductible from income), and '控除' (Deductions).

④年金通知書等

平成 分 公的年金等の源泉徴収票

支払を受ける者 住所	1 明治	2 大正	3 昭和
	生年月日		
区分	支払金額	源泉徴収税額	
注第203条の3第1号適用分			
注第203条の3第2号適用分			
注第203条の3第3号適用分			
本人	配偶者	扶養親族	障害者
特別徴収	特別徴収	特別徴収	特別徴収
社会保険料の金額	源泉徴収税額		
(印)	年金証書番号		
支払者	(〒105-8010) 東京都港区西新橋1丁目6番21号 独立行政法人高齢者年金基金		
監理者			

平成 年分 公的年金等の源泉徴収票

支払を受ける者 住所又は居所 氏名			
種別	支払金額	源泉徴収税額	
年金			
按率種別等 申告書の提出 有 無	本人 特別 障害者	その他の 障害者	扶養対象配偶者の有無等 老人控除対象 配偶者の有無
扶養親族の数 特定 老人 その他	障害者の数 (本人以外) 特別 その他	社会保険料の金額 (介護保険料等)	
年金の種別	生年月日		
老齢基礎	年 月 日		
(印)	(右の注記事項をよくお読みください。)		
支払者	東京都千代田区霞ヶ関1丁目2番2号 官署支出官 社会保険庁総務部経理課		

年金振込通知書

(初回振込予定日) 平成 年 月 日

あなたの年金は、平成 年 月から平成 年 月までの各償還月に、次のとおり指定された金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので、お知らせします。
(年金の支払予定日は裏面に記載しております。)

○年金の種別 国民年金 老齢基礎 年金

○年金証書の基礎年金番号・年金コード

○受給者氏名

○振込先 銀行・金庫 支店

○各支払予定日の支払額

金額	円
介護保険料額	円
所得税額	円
差引支払額	円

社会保険庁
官署支出官 社会保険庁総務部経理課

年金振込通知書

(初回振込予定日) 平成 年 月 日

あなたの年金は、平成 年 月から平成 年 月までの各償還月に、次のとおり指定された金融機関の預貯金口座に振込みの手続きを行うこととしましたので、お知らせします。
(年金の支払予定日は裏面に記載しております。)

○年金の種別 厚生年金 遺族厚生 年金

○年金証書の基礎年金番号・年金コード

○受給者氏名

○振込先 銀行・金庫 支店

○各支払予定日の支払額

金額	円
介護保険料額	円
所得税額	円
差引支払額	円

社会保険庁
官署支出官 社会保険庁総務部経理課

提出書類記入要領

1. 平成23年4月1日の状況(予定を含む)で記入してください。
2. 黒色ボールペンまたは、黒色のペンを使用してください。
3. 誤って記入した場合は、修正液(又は修正テープ等)を使用してください。
ただし、三重大学以外に証明等を受ける場合は、二重線・訂正印にて訂正してください。

様式1号 家庭事情報告書

1. 申請者は、1面及び2面の太線枠の内側は全て記入、また枠内及び{ }内の中で該当するものは○で囲んでください。
2. 写真は、申請前3ヶ月以内に撮影したもの。サイズ 縦4cm×横3cm で、裏面に学籍番号・氏名を黒ボールペンで記入の上、貼付してください。
3. 「本人及び保証人欄」は、必ず各々《自筆》でサイン、フリガナも記入してください。
4. 「家族欄」は、同居・別居を問わず申請者と生計が同じ者の全員を記入してください。
5. 「父」又は「母」が死亡・生別・無職の場合は、その事実発生の年月・理由(交通事故・病気・離婚・定年退職・会社倒産等)を具体的に記入してください。
(※学生及び祖父母は、様式9号の「無職証明書」は不要です。
他の家族は必要です。)
6. 記入された者全員の住民票を添付すること。
住民票では同じ住所になっているが、実際は別居独立生計の場合は、記入は不要です。
(※2世帯住宅等独立生計の《5ページ「⑩その他」の表を参照》証明が必要です。)
7. 「職業欄」は、(例)「会社員」・「国家公務員」・「小学校教諭」・「パート」・「専従者」・「食料品小売業」・「農業」・「年金生活」・「主婦」・「家事手伝い」・「無職」・「フリーター」・「自営(飲食店)」等具体的に記入してください。
8. 「在職期間欄」は、勤務年数を記入してください。
平成22年1月～23年4月までの期間中に、新規採用者又は中途就職者のいる場合は、必ずその者の採用年月日を明記してください。(例) H22. 8. 1～
9. 「勤務先欄」は、○○会社・○○商店・○○省○○局・○○立○○小学校等と記入してください。
自営業は、○○会社経営・○○商店経営・○○飲食店経営等と具体的に記入してください。
10. 「就学者(小学生以上)欄」は全員、1面(表面)・2面(裏面)の両方に記入してください。
申請・提出時に進学・受験等により未定の場合は、氏名・年齢まで記入して提出してください。
進学先等が、決定しましたら、速やかに申し出てください。
※太線枠より外側の欄は、記入しないでください。
(1面の太線枠の上側の部分及び「収入金額」の欄、2面の「控除額」,「収入基準」及び「成績」欄の記入は、不要です。)
11. 「本人履歴欄」は高校卒業以上の履歴を全て記入してください。
※太線枠より外側の欄は、記入しないでください。

様式2号～様式11号

1. 「様式4号」～「様式11号」の用紙が複数枚必要な場合、コピーしてください。
2. 「様式11号」は月毎に支払った金額(自己負担金)を記入してください。
「長期療養費内訳」については、申請前6ヶ月以上の領収書の各月の合計金額を記入してください。
2カ所以上の医療機関(各々、申請時に療養が継続中のこと)での医療費がある場合は、月別に合計してください。
「長期療養費内訳」を本人が記入する場合、(①医療機関の証明欄に署名、捺印があれば申請時の領収書のコピー添付は不要。②医療機関の証明がない場合は、領収書のコピー(月別にA4版に縮小)を添付。
また、医療機関によって支払証明及び領収書の再発行をしない機関がありますので、確認の上、医療機関へご迷惑をかけないよう留意してください。

様式1号 (1面) 新入生用 →

受験番号

旧学籍番号
編入受験番号

大学院生のみ

平成23年度 家庭事情報告書

申請者は1面及び2面の太枠内を記入し、{}内は該当するものを○で囲んでください。

入 学 料 免 除	授 業 料 免 除	前 期	後 期	奨 学 金	日本学生支援機構 一種・二種・きぼう21	備 考						
		平成 年 月から 平成 年 月まで										
学籍番号	4 0 8 1 0 0	平成20年度	4月 3年次編入	入学	写真添付	<保証人が署名> (フリガナ) カミハマ タロウ 本人と 氏名 上浜 太郎 の続柄 (父)	生年月日 (明・夫・隠) 27年 3月 3日	住所 (〒120-0000)	東京都足立区△△町△番地	TEL030-215-4444 携帯090-451-6633		
工	研究科 (修・博前・博後)	機械工	専攻	第4年次	厚4cm×3cm 裏面に 学籍番号 氏名を記入 申請前 3ヶ月以内に 撮影のもの	保証人 (保護者)						
<本人が署名> (フリガナ) カミハマ ジロウ	本人氏名	上浜 二郎	平成1年 4月 2日生	現住所 (〒514-0008)	三重県津市上浜町1000番地シーサイドマンション101号		TEL059-234-0001 携帯090-1234-5678・e-mailアドレス xxxxxx@xxxxxx					
就 学 者	続柄	氏 名	年齢	職業	在職期間	勤 務 先	前期申請 (万円)	後期申請 (万円)				
	父	上浜 太郎	59	会社員	35	XX株式会社札幌支店	父 給与	事業他	給与	事業他		
	母	上浜 花子	54	販売員	25	スーパー〇〇〇	母 給与	事業他	給与	事業他		
	○・母	死亡・生別・無職		その事実発生の日 (昭・平) 11年10月		その理由 (離 婚)						
家 族 を 除 く	祖父	上浜 勝一	81	無職		年金受給	A					
	姉	上浜 葉子	26	会社員	3	〇〇物産株式会社	B					
	兄	上浜 一郎	24	無職		雇用保険受給	C					
欄	続柄	氏 名	年齢	在学学校・学部等名		学年	平成21年度奨学金合計 (万円)	前期申請 (万円)	後期申請 (万円)			
	本人	上浜 二郎	21	三重大学 工 (修) 研究科		4	本人	給与	その他	給与	その他	
	妹	上浜 実枝子	20	私立xx大学 文学部		3	配偶者	給与	その他	給与	その他	
	弟	上浜 三郎	19	国立xx大学 医学部		2	臨時所得 (各事業他合算)	退・保・他 (氏名)	万円	前期・後期	退・保・他 (氏名)	万円

様式1号 (2面)

申請者は1面及び2面の太枠内を記入し、{}内及び各欄の該当するものを○で囲んでください。

学部名・学年

工学部 4年

学籍番号	4 0 8 1 0 0	(フリガナ) 氏名	カミハマ ジロウ 上浜 二郎	通学別	自宅・自宅外	(自宅外の場合は、下記のどれか1つを添付する。添付するものを○で囲んでください。) (家・水道料・賃貸契約書)のコピー
------	-------------	-----------	-------------------	-----	--------	--

特別控除に関する種別	続柄	氏 名	学 校 区 分	通学別	前年度授業料免除	控除額
就 学 者 (本人を除く)	妹	上浜 実枝子	国公立・私立 小・中・高校・高専・ 大学 ・専修(高等・専門)	自宅・自宅外	有・無	
	弟	上浜 三郎	国公立・私立 小・中・高校・高専・ 大学 ・専修(高等・専門)	自宅・自宅外	有・無	
障害者(原爆被爆・公害疾病等によるものを含む)要介護者	祖父	上浜 勝一	障害者手帳番号 又は 要介護手帳番号	東京第〇〇〇号	障 害 名 又は 要介護区分	〇〇〇〇〇〇 等級 1級
6ヶ月以上の長期療養者	母	上浜 花子	病名 (〇〇〇〇) (入院・通院・自宅就床) 昭・平 22年 月～			
別居の主たる家計支持者	父	上浜 太郎	別居理由(単身赴任)別居先住所(北海道札幌市〇〇区〇〇町〇〇荘〇〇号)			
火災・風水害・盗難等の被害	被災年月日 平 年 月 日・被災状況 ()					

本人履 歴 欄	昭・平 20年 3月	〇〇〇〇 高校	卒業・終了	身分異動(休学)	成績欄	標準	本人	特例
	昭・平 年 月		退職	理由	1年次及び農業別科	高		
	平 年 月			留学・病気	2年次以上の在来生	入		
	平 20年 4月	三重大学 工学部	入学	論文作成・その他	3年次編入の入学	成		
	平 年 月	三重大学 研究科(修・博前) 入学	期間	年 月 日～	修博前1年専攻科	入		
	平 年 月	三重大学 研究科(修・博前) 入学	年 月 日～	博後の1年次	入			
	平 年 月	三重大学 研究科(修・博前) 入学	年 月 日	大学院2年次以上	入			

区分	収入基準(種別)	母子 父子	就学者(小・中・16) (A) (B) (C) (D)	障 害 要介護	長 期 療 養	別 居 MAX71	災 害	父母以外 MAX38 ① ②	本 人 (自宅)(自宅外)
前期	学部	人							
後期	修士								
	博士	人							
推薦書・証明書									有・無
判定									可・不可

平成23年度授業料（前期分）免除申請書

三重大学長 殿

学籍番号 408100
(※右詰め)
平成 20 年度入学 第 4 年次
工 学部 機械工 (学科)・課程
研究科 (修士・博士 [前期・後期]) 専攻

(フリガナ) カミハマ ジロウ
(申請者が署名) 申請者氏名 上 浜 二 郎

(フリガナ) カミハマ タロウ
※ (保証人が署名) 保証人氏名 上 浜 太 郎
(申請者との続柄: 父)

平成23年度授業料（前期分）の免除を下記事由により、関係書類を添えて申請します。
なお、記載事項は事実と相違ありません。

記

免除申請事由（申請者が、具体的かつ詳細に記入してください。）

- ① 私の父は、単身赴任なので、母が家業の青果の小売店を営んでいます。
② 母は病弱で、かつ身体障害の義父の介護で、あまり商売の方に時間をかけられません。
③ この不況下で、3年前から父親の経営している飲食業は経営不振に陥り赤字続きです。
④ 姉は、この4月から就職しましたが、給与は少ないです。
⑤ 兄は、就職したものの会社が倒産し、現在は無職で雇用保険を受給しながら求職中です。
⑥ 妹は東京の私大に通っており、さらに下宿生活をしているので家計費を圧迫しています。
⑦ 私と弟は、ともに大学生でアルバイトと奨学金貸与で頑張っていますが、生活するのが精一杯です。
⑧ 私は長男ですが、下に兄弟が3人もいて、しかも一番年少はまだ小学生で今後は教育費が益々増大します。
⑨ 両親は、年金生活で自分たちの生活で手一杯で、とても私の学費までは捻出できません。
⑩ 昨年父が他界し、母は専業主婦であったため今更会社勤めはできず、生活の収入基盤が全くありません。
以上の理由により授業料の免除の申請をいたします。

(注) 車輛や持ち家のローンで苦しいのは理由として不適切になります。

(不動産は最後には、自分の財産として残るため。)

下記の該当事項を○で囲んでください。

※平成22年度（前期・後期）に授業料免除を申請（した・していない。）

受付印

受 領 書

平成23年度授業料（前期分）免除申請書を受理しました。

三重大学学務部学生サービスチーム
免 除 担 当

受付印

※受付印のないものは無効です。

収入状況等申立書（日本人学生）

三重大学長 殿

学籍番号 408700

(フリガナ) カミハマ シチロウ
申請者氏名 上 浜 七 郎

平成23年度授業料（前期分）免除の申請にあたり、私の収入状況は下記のとおりです。収入に応じた証明書を添付し、申し立てます。

なお、記載事項は事実と相違ありません。

記

Table with 5 columns: 収入の種類, 22年度, 23年度 (月額, 年額), 添付書類. Rows include 奨学金, 一般アルバイト, 家庭教師, 養育費, 経済援助, 配偶者の収入.

※記入上の注意

- 1. 該当箇所に○印をして、月額及び年額を記入してください。
2. 単位は、万円で記入してください。（千円の端数は小数一桁まで記入）
3. 22年度・23年度収入の有無は必ず記入してください。（短期のアルバイトであっても収入の有無欄に必ず記入してください。）

給与(アルバイト等(3ヶ月))給与明細書貼付用紙

学籍番号 408700

平成 20 年度入学 第 4 年次
 三重大学 工 学部 建築 (学科) 課程
 研究科 (修・博前・博後) 課程 専攻
 (フリガナ) カミナ? シチロウ
 申請者氏名 上浜七郎

アルバイトの種類	※ <u>スーパー店員</u>					
期間	※平成22年 <u>4</u> 月 ~ 月まで (継続)・退職					
給与 (通勤費を除く)	※平成22年12月分	29,500	円			
	平成23年1月分	23,700	円			
	2月分	14,600	円			
	3ヶ月分合計	67,800	円			

※印箇所は、記入してください。

給与(アルバイト等(3ヶ月))給与明細書を貼り付けてください

※コピーで縮小可、最近の3ヶ月の支払い金額がわかる書類。

1. 2010年12月給与明細書

所属	社員コード	氏名		〇〇ランド株式会社		
	0000231	上浜七郎				
支給	基本給	業務手当	時加給	通勤費		支給総額
	25,000	3,000	1,500	1,600		31,100
控除				課税対象	所得税	住民税
					6,000	3,500
						21,600

2. 2011年1月給与明細書

所属	社員コード	氏名		〇〇ランド株式会社		
	0000231	上浜七郎				
支給	基本給	業務手当	時加給	通勤費		支給総額
	20,000	2,000	1,700	1,600		25,300
控除				課税対象	所得税	住民税
					6,000	3,500
						15,800

3. 2011年2月給与明細書

所属	社員コード	氏名		〇〇ランド株式会社		
	0000231	上浜七郎				
支給	基本給	業務手当	時加給	通勤費		支給総額
	13,000	1,000	600	1,600		16,200
控除				課税対象	所得税	住民税
					4,000	2,500
						9,700

(備考) 1. (様式5号-2)を提出した場合は、(様式5号-1)は不要です。
 2. 2ヶ所以上でアルバイト等をしている場合は、この用紙をコピーしてください。

経済援助等証明書

学籍番号 510M100

平成 22 年度入学 第 2 年次
 三重大学 _____ 学部 _____ 学科 課程

生物資源学 研究科 (修・博前・博後) 課程 資源循環学 専攻
 (フリガナ) ミイタロウ
 申請者氏名 三重太郎

このたび、三重大学において、平成23年度授業料(前期分)免除の申請をするため、私の現在の経済的状況を必要としますので、下記事項について証明をお願いします。

記

私は、(申請者) 三重太郎 に対し、平成 22 年 4 月 ~ 23 年 3 月

までの期間に月額 30,000 円を〔※奨励金・貸与金・その他〕と

して支払いました。〔※その後も継続する・その後は継続しない〕ことを証明します

平成 23 年 月 日

〈続柄〉 知人等

〈住所〉 津市栄町1-1

〈氏名〉 愛知一郎 (印)

(※該当する箇所に○印をしてください。)

事業所長 殿

給与(退職)証明書

学籍番号

4	0	9	3	0	0
---	---	---	---	---	---

 平成 21 年度入学 第 3 年次
 三重大学 工 学部 電気電子工 学科・課程
 研究科(修・博前・博後)課程 _____ 専攻
 (フリガナ) カミハナガツ ヒロ
 申請者氏名 上 浜 三 郎

このたび、三重大学において、平成23年度授業料(前期分)免除の申請をするため、私の〔(続柄) 姉 〕の〔(氏名) 上 浜 花 子 〕に関する下記事項について証明をお願いします。

記

平成 23 年 4 月 1 日付け〔※①正社員・②パート社員・③他 _____ 〕として〔※①採用・退職(予定)〕の(氏名) 上 浜 花 子 に対し、
 〔① 4 月分の給与・②退職金〕として 145,000 円を、
 平成 23 年 4 月 25 日に〔※①支払った・②支払う見込みである〕ことを証明します。
 平成 23 年 月 日
 東京都千代田区 3-3-4
 事業所名 大日本コーポレーション ㊤

- (備考) 1. 該当する箇所に記入及び○印をしてください。
 2. この証明書用紙で証明できない場合は、貴所備え付けの用紙で証明してください。

退職金・保険金等受給明細書

三重大学 長 殿

学籍番号

4	0	8	1	0	0
---	---	---	---	---	---

 (フリガナ) カミハナガツ ヒロ
 申請者氏名 上 浜 三 郎

私の家族内の退職金・保険金等の明細は下記のとおりです。
 なお、記載事項は事実と相違ありません。

受給した者の氏名・続柄	<u>上 浜 一 郎 (父)</u>	()
退職金・保険金等の別	<u>退 職 金</u>	
発 生 年 月 日	平成 <u>23</u> 年 <u>3</u> 月 <u>1</u> 日	平成 年 月 日
支 払 年 月 日	平成 <u>23</u> 年 <u>3</u> 月 <u>25</u> 日	平成 年 月 日
在職又は保険期間等	<u>25</u> 年 <u>10</u> ヶ月	年 ヶ月
支 払 金 額	① <u>1,500,000</u> 円	① 円
(税金・既払金額)	②△(<u>150,000</u> 円)	②△(円)
差 引 受 給 金 額	①-② <u>1,350,000</u> 円	①-② 円
備 考		

(注意)

- 申請前6ヶ月内(前期=前年10月1日~3月31日, 後期=4月1日~9月30日)の受給金は、臨時所得になります。
- 退職金・保険金等の金額及び支払年月日が記載されている通知書等のコピーは必ず添付してください。
- 会社等の退職又は死亡事実の発生はあったが、退職金・保険金がなかった場合には、この様式8号は不要です。様式7号(「金額は、0円にて証明」)又は支払金額が無いことを証明できるものを必ず提出してください。
- 不明な点がありましたら「学生サービスチーム①番窓口」へ相談してください。

平成23年 月 日

無職証明書

学籍番号 408100
 平成 20 年度入学 第 4 年次
 三重大学 工 学部 機械工 学科 課程
~~研究科(修・博前・博後)課程~~ 専攻
 (フリガナ) カミナリザブロウ
 申請者氏名 上浜三郎
 (フリガナ) カミナリイフロウ
 保証人氏名 上浜一郎
 (申請者との続柄: 父)

このたび、三重大学において、平成23年度授業料(前期分)免除の申請をするため、下記の者が無職であることの証明をお願いします。

記

(フリガナ)	<u>カミナリジロウ</u>	申請者との続柄	<u>兄</u>
氏名	<u>上浜二郎</u>		
生年月日	<u>昭和59年10月16日生</u>		
現住所	<u>千葉県船橋市野見山町13-15-4</u>		

(ここまでは、申請者が記入してください。)

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成23年 月 日

地区担当民生委員 ・ 町内会長 ・ 自治会長 ・ その他 ()

住所 〒243-6812

千葉県船橋市野見山町10-3

氏名 大和正義 (印)

平成23年 月 日

授業料免除状況証明書
(在学証明書)

国立学校授業料免除等担当者 殿

学籍番号 408100
 平成 20 年度入学 第 4 年次
 三重大学 工 学部 機械工 学科 課程
~~研究科(修・博前・博後)課程~~ 専攻
 (フリガナ) ミイゴロウ
 申請者氏名 三重五郎 (印)

このたび、上記三重大学の在学生在が平成23年度授業料(前期分)免除の申請をするにあたり、貴学の下記に在学生に係る平成22年度分授業料免除実施状況及び現在の通学区分を必要としますので、下記事項について証明して下さるようお願いいたします。

なお、この証明書は、在学証明書も兼ねます。

記

貴大学・高等専門学校に在学者(2年次以上)

平成 <u>21</u> 年度入学	第 <u>3</u> 年次	学籍番号	<u>XXXXXXXXXX</u>
国立	※ <u>XXXX</u>	<u>大学</u> 高等専門学校	
	学部 <u>経済</u>	学部 <u>社会経済</u>	学科 <u>課程</u>
	研究科(修・博前・博後)課程	専攻	
(フリガナ)	<u>ミイハチロウ</u>	続柄	※ <u>兄</u> ・ <u>弟</u> ・ <u>姉</u> ・ <u>妹</u>
氏名	<u>三重八郎</u>	通学	※ <u>自宅通学</u> ・ <u>自宅外通学</u>

(※該当する箇所には○印をしてください。)

平成22年度分授業料免除実施状況

授業料年額	前期分				後期分			
	全額免除	半額免除	不許可	未申請	全額免除	半額免除	不許可	未申請
<u>535,800</u> 円	<u>267,900</u> 円				<u>133,950</u> 円			

※本年度入学につき該当しません

上記のとおり証明します。

平成23年 月 日

〈学校名〉 XXXX 大学
 〈所在地〉 〒111-2222 東京都板橋区 1-1-1
 〈担当者職名〉 学生課学生係
 〈氏名〉 山川一郎 (印)

長期療養費支払明細書

三重大学長 殿

学籍番号 **5 1 0 M 9 9 9**

(フリガナ) **エイブツク ロウ**
 申請者氏名 **生物太郎**

私の家族の長期療養費は下記のとおりです。

1. (総括表)

受診した者の氏名	生物花子	病名	糖尿病・リュウマチ
本人との続柄	母	医療機関名	×××大学附属病院
健康保険の種類	国民健康保険・共済組合保険・社会保険・その他 ()		
診療期間	外来 平成 19 年 5 月 日～平成 年 月 日 又は継続中	入院 平成 22 年 8 月 1 日～平成 22 年 8 月 25 日 又は継続中	

2. (長期療養費内訳：記入してください)

期 間	①自己負担金額(保険対象分)		②高額療養費(補填分)		③ 免除対象医療費 (①-②)
	外 来 分	入 院 分	外 来 分	入 院 分	
3 月分	9,800 円	円	円	円	9,800 円
4 月分	10,500 円	円	円	円	10,500 円
5 月分	7,400 円	円	円	円	7,400 円
6 月分	8,000 円	円	円	円	8,000 円
7 月分	65,200 円	円	円	円	65,200 円
8 月分	2,000 円	153,700 円	円	78,967 円	76,733 円
9 月分	13,300 円	円	円	円	13,300 円
10月分	5,500 円	円	円	円	5,500 円
11月分	4,900 円	円	円	円	4,900 円
12月分	5,300 円	円	円	円	5,300 円
1 月分	6,100 円	円	円	円	6,100 円
2 月分	4,800 円	円	円	円	4,800 円
合 計	142,800 円	153,700 円	円	78,967 円	217,533 円

☆この欄は記入しない → 年額医療費 (③×12ヶ月/申請月数) 万円

3. (医療機関の証明)

※医療機関へお願い

上記2. の表中①自己負担金額を記入又は申請者が記入した金額を確認し、下記の証明をお願いします。

上記の自己負担金額(保険対象分)に相違ないことを証明します。
 平成23年 月 日

医療機関名 **×××大学附属病院**
 代表者名 **院長** ○○○○ ○

(注・その1)

- ㊤ 左記、医療機関の証明は、行わない機関もありますので、確認をしてください。
- ㊦ 上表の①自己負担金額は、保険対象分の医療費です。文書料・食事負担金・入院室料等は、対象外なのでご注意ください。
- ㊧ 長期療養の条件は、同一人物、同病名、申請前6ヶ月以上継続して治療中であり、申請後も治療を要する事。

(注・その2)

- ㊨ 診断書及び領収書(申請月から遡りして6ヶ月以上12ヶ月以内の医療費分のコピー)・明細(自己計算)を添付。ただし、上記(医療機関の証明書)がある場合は、診断書のみ添付(できるだけ様式11号でお願いします)。
- ㊩ 高額療養費については、健康保険等へ請求されたものとして取扱います。
- ㊪ 各月毎の医療費(外来・入院各々)が自己負担限度額を超えた額を②の欄に記載してください。

高額療養費の自己負担限度額

- 非課税世帯の者 ---- 35,400円
- 一般所得者 ---- 80,100円+(医療費-267,000円)×1%
- 上位所得者 ---- 150,000円+(医療費-500,000円)×1%

(人工透析、血友病、エイズについては、自己負担額は、10,000円または、20,000円)

【参考資料 1】

学業成績の基準

区 分	評 価
学部 1 年次に在学する者	1. 高等学校の学業成績の評定平均値が3.5以上の者又は、3.5未満であっても入試成績順位が上位1/3以上の者 2. 特別選抜による入学者で上記により難しい場合は、特別選抜における入試成績が優秀であることを当該学部長が認定した者
学部 2 年次以上に在学する者	1. 前年度までの学業成績の平均値が7.0以上の者 2. 3年次編入による入学者で学業成績の平均値が7.0未満の場合は、入試成績が上位1/3以上の者 3. 特別選抜による入学者で上記により難しい場合は、特別選抜における入試成績が優秀であることを当該学部長が認定した者
大学院（博士後期課程を除く）1年次及び専攻科に在学する者	1. 学部の学業成績の平均値が7.0以上の者又は、7.0未満であっても入試成績が上位1/3以上の者 2. 特別選抜による入学者で上記により難しい場合は、特別選抜における入試成績が優秀であることを当該研究科長及び学部長が認定した者
大学院博士後期課程 1年次に在学する者	1. 修士・博士前期課程の学業成績の平均値が7.0以上の者又は、7.0未満であっても入試成績が上位1/3以上の者 2. 出願資格 ① 文部科学大臣の指定した者 ② 当該研究科において、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者については学部の成績の平均値が7.0以上の者又は、7.0未満であっても入試成績が上位1/3以上の者 3. 特別選抜による入学者で上記により難しい場合は、特別選抜における入試成績が優秀であることを当該研究科長が認定した者
大学院 2 年次以上に在学する者	前年度までの学業成績の平均値が7.0以上の者

- (注) 1. 免除申請した者で、前年度（平成 22 年度）の成績が上記基準に達していない者は、「不許可」になります。
2. 申請する前に必ず、自分で成績の内容を確認（下記計算式を参照）しておいてください。

〔学業成績算出計算式〕

学部 2 年次以上・・・・・・・・ 7.0 以上 ※認定は良とみなす (10 点満点で評価された素点 × 単位数) ÷ 総修得単位数 素点が不明の場合は、 (9 × 優の単位数 + 7 × 良の単位数 + 6 × 可の単位数) ÷ 総修得単位数
--

【参考資料2】

標準修得単位数

【学部】

学 部	学 科 ・ 課 程	年 次 別 既 修 得 単 位 数				
		2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
人文学部	文化学科	30	60	90		
	社会科学科	30	60	90		
	法律経済学科	30	60	90		
教育学部	学校教育教員養成課程	30	60	90		
	情報教育課程	30	60	90		
	生涯教育課程	30	60	90		
	人間発達科学課程	30	60	90		
医学部	医 学 科	30	48	65	91	91
	看護学科	30	60	90		
工学部	機械工学科	30	60	90		
	電気電子工学科	30	60	90		
	分子素材工学科	30	60	90		
	建築学科	30	60	90		
	情報工学科	30	60	90		
	物理工学科	30	60	90		
生物資源学部	資源循環学科	30	60	90		
	共生環境学科	30	60	90		
	生物圏生命科学科	30	60	90		

※ただし、3年次編入生に限り、各学部の3年次単位数の適用を除外。

【研究科】

研 究 科	課 程	年次別既修得単位数		
		2年次	3年次	4年次
人文社会科学研究科	修士課程	15		
教育学研究科	修士課程	15		
医学系研究科	修士課程	15		
	博士課程	6	12	18
工学研究科	博士前期課程	15		
	博士後期課程	4	7	
生物資源学研究科	博士前期課程	15		
	博士後期課程	5	10	
地域イノベーション 学研究科	博士前期課程	15		
	博士後期課程	4	7	

(注) 1. 免除申請した者で、前年度（平成22年度）の修得単位数が上記基準に達していない者は、「不許可」になります。

2. 申請する前に必ず、自分で修得単位数を確認しておいてください。

3. 上記基準単位数を修得しても留年をした場合は、「不許可」になります。

【参考資料3】

収入基準額表

全額免除収入基準額

(単位は円)

世帯数	学部学生	大学院(修士)	大学院(博士)
1人世帯	88万以下	96万以下	132万以下
2人世帯	140万以下	152万以下	212万以下
3人世帯	162万以下	177万以下	245万以下
4人世帯	175万以下	192万以下	266万以下
5人世帯	189万以下	208万以下	288万以下
6人世帯	199万以下	217万以下	302万以下
7人世帯	207万以下	226万以下	315万以下

半額免除収入基準額

世帯数	学部学生	大学院(修士)	大学院(博士)
1人世帯	167万以下	182万以下	254万以下
2人世帯	266万以下	290万以下	404万以下
3人世帯	306万以下	334万以下	467万以下
4人世帯	334万以下	364万以下	507万以下
5人世帯	360万以下	393万以下	548万以下
6人世帯	378万以下	412万以下	574万以下
7人世帯	395万以下	432万以下	602万以下

$$(1) \quad \boxed{\begin{array}{l} \text{(A) 総所得金額} \\ \text{(申請者の所得に} \\ \text{なります)} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{総収入金額} \\ \text{(家族の収入合算)} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{l} \text{必要経費} \\ \text{(給与及び年金の} \\ \text{控除巻末チェッ} \\ \text{クリスト参照)} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{l} \text{特別控除額} \\ \text{(巻末チェックリ} \\ \text{スト参照)} \end{array}}$$

$$(2) \quad \boxed{\begin{array}{l} \text{(C) 家計評価額} \\ \text{(マイナス又はゼロの者)} \end{array}} = \boxed{\begin{array}{l} \text{(A) 総所得金額} \\ \text{(申請者の所得)} \end{array}} - \boxed{\begin{array}{l} \text{(B) 収入基準額} \\ \text{(上記一覧表参照)} \end{array}}$$

- ※ (C)家計評価額が、「マイナス」又は「ゼロ」の者が免除の有資格者です。
- ※ 免除の有資格者が、必ずしも免除されるとは限りません。(免除の予算に上限があるため)

○給与所得及び年金の収入金額は、次の計算式によって得られた金額は、必要経費として総収入金額から控除できます。(千円以下は切り上げ)

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| ・収入金額が 104 万円以下のもの | 収入金額と同額 |
| ・収入金額が 104 万円を超え 200 万円まで | 収入金額× 0.2 + 83 万円 |
| ・収入金額が 200 万円を超え 653 万円まで | 収入金額× 0.3 + 62 万円 |
| ・収入金額が 653 万円を越えるもの | 258 万円 |

○上記以外の特別控除額等

- ・母子・父子家庭の場合 49 万
- ・本人が自宅から通学 28 万, 自宅以外から通学 72 万
- ・兄弟姉妹が自宅から通学 (国公立) 大学 59 万, 専修 22 万, 高校 28 万, 中学 16 万, 小学 8 万
(私立) 大学 101 万, 専修 72 万, 高校 41 万, 中学 16 万, 小学 8 万
- ・兄弟姉妹が自宅外から通学 (国公立) 大学 102 万, 専修 62 万, 高校 47 万, 中学 16 万, 小学 8 万
(私立) 大学 144 万, 専修 112 万, 高校 60 万, 中学 16 万, 小学 8 万
- ・父母以外(祖父母等)が同居して、年間 152 万円以上の収入がある場合 38 万
- ・身体障害者の家庭 86 万

事 例 1

○家庭状況(母子家庭)

学部生, 自宅から通学, 2人世帯
母は会社員で給与所得 2,140,000 円(控除有)
本人のアルバイト収入 290,000 円(控除なし)

○計算方法

母の給与所得	2,140,000 円
母の給与所得控除額	△ 1,270,000 円
※ 2,140,000 × 0.3 + 620,000 =	1,262,000
本人のアルバイト収入	290,000 円
母子家庭	△ 490,000 円
自宅から通学	△ 280,000 円
計	390,000 円

390,000 < 1,400,000 (2,660,000)
=免除申請可能

試算表

○家庭状況

学部, 大学院
自宅通学, 自宅外通学
世帯人数 人

○計算方法

家族の給与所得の合計	円
家族の上記以外の収入(年金等)	円
給与所得の控除額の合計△	円
(円× + 円=	円)
本人のアルバイト収入	円
父子・母子家庭	△ 円
兄弟姉妹の勉学状況	△ 円
通学の状況	△ 円
計	円(A)

(A) < 収入限度額の金額 = 免除申請可能

事 例 2

○家庭状況(5人世帯)

大学院(修士), 自宅外から通学, 5人世帯
父は自営業で所得 4,000,000 円(控除なし)
母は会社員で給与所得 1,500,000 円(控除有)
本人のアルバイト収入なし
弟は私立大学生で自宅外から通学(144万円)
妹は公立高校生で自宅から通学(28万円)

○計算方法

父の所得	4,000,000 円
母の給与所得	1,500,000 円
母の給与所得控除額	△ 1,130,000 円
※ 1,500,000 × 0.2 + 830,000 =	1,130,000
自宅外から通学	△ 720,000 円
兄弟姉妹の勉学状況 弟△	1,440,000 円
妹△	280,000 円
計	1,930,000 円

1,930,000 < 2,080,000 (3,930,000)
=免除申請可能

○家庭状況

学部, 大学院
自宅通学, 自宅外通学
世帯人数 人

○計算方法

家族の給与所得の合計	円
家族の上記以外の収入(年金等)	円
給与所得の控除額の合計△	円
(円× + 円=	円)
本人のアルバイト収入	円
父子・母子家庭	△ 円
兄弟姉妹の勉学状況	△ 円
通学の状況	△ 円
計	円(A)

(A) < 収入限度額の金額 = 免除申請可能

免除申請質疑応答集

<所得証明>

Q. 私の世帯は5人家族です。(父, 母, 兄, 私, 妹)

母は専業主婦, 兄は大学生, 妹は高校生です。収入のあるのは父のみです。

父の「所得証明書」のみを提出すればよろしいですか？

A. いいえ。免除申請に必要な「所得証明書」は同一生計の家族全員分(ただし中学生以下は除く)が必要になりますので収入のない方も必要となります。したがってあなたの場合は在住している市区町村役場において家族全員分の「所得証明書」(あるいは「非課税証明書」)が必要となります。

Q. 「所得証明書」(兄弟姉妹)は, 収入がないので発行できないと言われました。

どうしたらよろしいですか？

A. その場合は, 在住している市区町村役場において, 兄弟姉妹の「非課税証明書」を発行していただいて提出してください。

Q. 私の学資負担者が転職したのですが前年(前会社)の「源泉徴収票」は必要ですか？

A. 免除申請時において, 新たな会社等に勤務している場合は新しい勤務先の最新3ヶ月の「給与明細書」・「労働条件通知書」・「契約条件通知書」などの写し等, 将来恒常的に得られる収入の資料を提出していただくことになります。なお, 前勤務先の「退職金の受給の有無を証明する書類」の提出が必要になりますのでご注意ください。

Q. 私の家族(兄弟姉妹)は現在就職活動中で, 派遣社員や短期のアルバイトをやっておりわずかですが収入があります。それらについて, 証明書の提出は必要ですか？

A. はい。家族の中で収入のある方のすべての証明書の提出が必要になります。

アルバイト先での「給与支払証明書」(任意の証明書)あるいは本人の「給与明細書の写し」を提出していただく必要があります。

<年金証明>

Q. 私の家族で年金受給者がいますが, 「年金証明書」・「最新の年金振込通知書」を紛失してしまいました。どのように証明書類を提出すればよろしいですか？

A. そのような場合は, その年金受給者名義の通帳等により確認させていただく必要がありますので, その名義人の表紙, 年金の振込みが記載された部分をコピーしてください。なお, それ以外の部分(口座番号・残高・その他の支出等)は, 塗りつぶすなど必ず読みとれないようにして提出してください。

<無職証明>

Q. 母が専業主婦の場合でも「無職証明書」が必要ですか？

A. はい。必要になります。

Q. 兄弟姉妹等が浪人中（受験・就職）の場合でも「無職証明書」が必要ですか？

A. はい。必要になります。

Q. 「無職証明書」の証明者は民生委員か自治会長でないとだめですか？

A. いいえ。家族の状況を承知している客観的第三者であればどなたでもいいです。

（例：おじ・おば・隣人・学資負担者の友人等）ただし、同一生計の家族は除きます。

<在学証明>

Q. 「在学証明書」（兄弟姉妹）は、昨年作成したものを持っており、今回の申請に使用したいのですが可能ですか？

A. いいえ。免除申請は申請時の状況が必要となりますので、再度最新の「在学証明書」を提出していただく必要があります。

Q. 「在学証明書」（兄弟姉妹）の代わりに兄弟姉妹の学生証の写しは可能ですか？

A. いいえ。最新の「在学証明書」を提出していただく必要があります。

<二世帯で別生計>

Q. 私の家族と祖父母と住民票上は一緒ですが、二世帯で別生計です。

どのような証明書が必要になりますか？

A. 免除申請書に二世帯であることを必ず記載してください。証明書類はそれぞれの世帯の「家賃又は水道料金等の最新の領収書の写し（別生計を証明できるもの）」が必要となります。

なお、兄弟姉妹（夫婦）と同居の場合も同様です。

<成績・休学>

Q. 前年の学業成績が基準に達しない場合でも、授業料免除の申請はできますか？

A. 免除申請をすることは可能ですが、前年の学業成績が基準に達しない場合及び留年をした場合は、学業成績の基準に達しないため不許可になります。

Q. 在学中に他校受験のため2年間休学しました。現在4年生（2年次）ですが免除申請をすることは可能ですか？

- A. 授業料免除の申請は、修業年限(学部生4年(医学科については6年))の期間内です。
あなたの場合は自己都合による休学のため、4年生(2年次)の一年間については可能ですが、それ以降は免除申請をすることはできません。(自己都合による休学期間は、修業年限の期間に含まれます。)
- なお、このような場合、学業成績の基準については、1年生(1年次)の成績を判定基準とします。
- また、この取り扱いは大学院生(修士課程・博士課程)についても同様です。
- Q. 在学中に病気のため1年間休学しました。この場合も自己都合による休学と同じ扱いになるのでしょうか?
- A. いいえ。病気・留学・出産・育児などの理由により休学し、留年した場合は、修業年限に1年を加えた期間までは申請可能です。(やむを得ない理由による休学期間は、修業年限の期間に含まれません。)

<その他>

- Q. 前回免除申請時に必要な書類を大学に提出しましたが、今回の申請に必要な書類は省略できますか?
- A. 免除申請は半期ごとに申請及び決定となりますので、ご面倒でも再度必要書類を提出していただくことになります。ご理解ください。
- Q. 免除申請提出後に家族の状況に変更が生じました。追加書類など窓口での手続きは必要ですか?
- A. はい。証明書類等を整えて、窓口での手続きが必要です。
- 例) 住所が変更になった・・・「住民票」
兄弟姉妹が結婚し別生計となった・・・「結婚披露宴の案内等の写し」
又は「戸籍抄本」
兄弟姉妹が就職し別生計となった・・・「家賃又は水道料金等の最新の領収書の写し(別生計を証明できるもの)」
祖父母等がなくなった・・・・・・・・・・「死亡診断書の写し」・「除籍謄本」等

◆◆◆ 授業料免除に関する問い合わせ先 ◆◆◆

三重大学学務部学生サービスチーム

〒514-8507 津市栗真町屋町 1577
TEL 059(231)9678
FAX 059(231)9058